
DBPRINT ファイル名 ;

機能 :

DBPRINT は TSP データバンク内の全ての系列を, 現在の FREQ と SMPL のもとでプリントします. このコマンドは, TSP データバンク機能があるほとんどのシステムで利用可能です.

使用法 :

DBPRINT に続けて, プリントする TSP データバンクのファイル名を書きます. FREQ と SMPL がセットされているかどうか確かめて下さい. DBLIST コマンドによる系列の FREQ と SMPL 情報が, FREQ と SMPL の期間をセットするのに役立ちます. 現在有効な FREQ で保存されていない系列はプリントできません. 行列とか FRML のような系列以外の TSP 変数は, プリントされません. パラメータと定数は DBLIST コマンドでプリントすることができますが, 行列や FRML は IN や PRINT でプリントできます. プリントされた系列は, 一時的にメモリー内にあるだけで, IN コマンドでアクセスされたときだけ保存されます. これによって, 現在保存されているどんな系列もデータバンク内の同じ名前の系列で上書きされるのを防ぐことができます. 現在はただ一つのデータバンクだけが DBPRINT コマンドでプリントできます.

例 :

2つの時系列 X と Y とパラメータ B を含む FOO.TLB というデータバンクがあるとします. コマンド

```
FREQ Q;
SMPL 60:1,60:4;
DBPRINT FOO ;
```

によって, 次の情報がプリントされます.

VALUES FOR ALL SERIES IN DATABANK FOO.TLB

	X	Y
1960:1	1.00000	11.00000
1960:2	2.00000	22.00000
1960:3	3.00000	33.00000
1960:4	4.00000	44.00000